



中津支援学校に通う児童生徒が使用している
主な身体器具の基礎知識について紹介します。

プレーリーくん



1、プレーリーくんとは

社会福祉法人愛徳福祉会が開発した側弯補正装具の一つで、その愛称として「プレーリーくん」と名付けられた。プレーリーくんは児童生徒の身体の状態に合わせて作られており、それぞれの形やベルトの位置、ベルトの本数なども様々である。しかし、装着方法の基本的なポイントさえ知っていれば装着は難しくない。

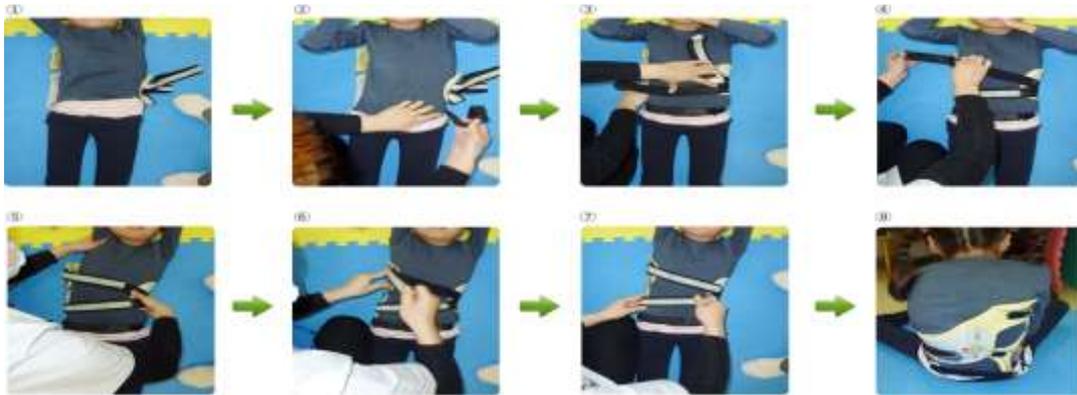
2、プレーリーくんの装着についてのポイント

- ① ベルトは骨盤部分から順番に側弯を修正しながら締めていく。(骨盤にかかるように)
- ② ベルトの締め具合は、仰臥位で指一本がスムーズに入る程度で締める。
- ③ 一番下のベルトは上前腸骨棘にかからないようにする。

※締める位置として、ベルトにマジックテープの矢印⇒がついている場合もある。

※プレーリーくんが体にピッタリと沿うようにし、ずれがないか確認する。

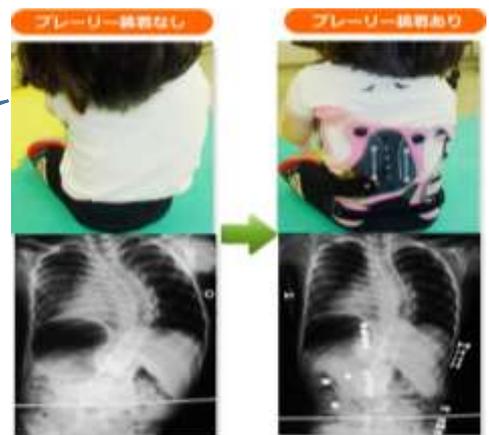
※プレーリーくんのベルトの位置や止める側は人によって異なるので上下を間違えないようにする。脇に当たるところにはクッションがついているので、それが上側にくるようにする。しっかり腕をあげるなどして体を伸ばしてから装着する。



3、装着時の注意点

- ① 痛がっていないかどうか
- ② 装具の当たる場所が発赤していないかどうか
- ④ 苦しそうでないかどうか
- ⑤ 機嫌が悪いかどうか
- ⑥ 便秘・下痢・嘔吐などがないかどうか

プレーリー君装着時
と未装着時を比較し
たもの



※胃ろうボタンや傷など圧迫してはいけない箇所をベルトで圧迫していないか、姿勢変換や移乗等でずれが出ていないか等、随時確認する。また、ずれがある場合は速やかに正しい位置にくるように装着し直す。

※食事などの際にはベルトを緩めたり、外したりする場合もあるので、個々に確認しておく。

【参考】

「社会福祉法人愛徳福祉会、大阪発達総合療育センター、南大阪小児リハビリテーション病院」HP より一部抜粋